ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会誌

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

27巻1号（通算49号）

シンポジウム　生物に関わる資格の意義と役割



2005年8月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「奈良公園のエゴノキ」

写真・文　伊藤　ふくお

私が小学校4年生頃だったと思う。通学路途中の空き地に，夏が終わる頃小指の先ほどの大きさの実を沢山つける木があった。そんなには大きな木ではなく，身長130㎝ほどの私でも飛び上がると一番下の枝に届くほどだった。友達と数人で自転車のサドルに立ったり，木に登ったりしながらその実を取った。半ズボンのポケットが十分ふくらむまで取ると，近くの小川へ。途中，レンガや平たい石を，それぞれが2個拾っていく。小川につくと，流れの緩くなった所を選び，二つの石の間に実をはさみゴリゴリとつぶす。つぶしながら，それを川に流す。数人でそれを繰り返すと，条件が良ければタナゴやたぶんカワムツなどの小魚が白い腹を見せながら水面に浮かび上がってくる。その魚をどうしたのかまでは憶えていないが，ただそうして魚が浮かんでくることを遊んだように思う。長じてそれがエゴノキと呼ばれる樹木で，その花や果実にはエゴサポニンと呼ばれる有毒物質が含まれていて，魚毒として魚を採るのに使うと判った。

下向きに咲く，白いかれんな花からはとても想像できない顔を持っている。そんなエゴノキにバナナの房にも似た，実のような不思議な形をしたものができる木がある。これは，エゴノネコアシフシと呼ばれているエゴノネコアシアブラムシが造った彼らの住まいだ。そう言えば，石でつぶさなくても，指でつぶれてしまう実があったなと，奈良公園の飛火野で，表紙にある写真を撮影しながら微かに残った記憶を思い出した。（撮影　2002.5.9　奈良公園飛火野）

関西自然保護機構（**KONC**：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。